

中日ニュース

シネスコ版

高新ニユース No. 242

新隻娘ニユース No. 170

中日ニユース No. 183

No. 507

38.10.-4

大島逆車訓練券 大島・大洋 22回戦 21/200. トップ

町から村から

一、入試展へ十万人

— 東京

東京新宿のデパートでこのほど入試展なるものが開催。ロクベン用テープレコーダーから受験生の「頭の良くなる栄養食」などすべて入試に関するもの。電子頭脳による進路診断を受ける学生さん。なんととっても頭の痛いのは学資費用。十万人の入場者とあって、まさに受験地獄の反映です。

一、ボーリングブーム地方へ

— 東京・静岡

東京のボーリング場は、今やどこもかしこも大繁昌。大衆料金が人目を呼んだのか、夜遅くまで楽しむ若者達。このブームは、この程静岡にもお目見え。会場開きには副知事も出席。女子ナンパワンの野沢さんもかけつけます。川口浩さんのお手並もごひろう。こうしてボーリングは全国津々浦々に拡がろうとしています。

現代に生きる

一、記録を追って

— 依田 郁子

オリンピックまで後三百七十日余り。陸上競技で、はたして日章旗が上がるかどうか。まったく疑問です。

だがその中にある明い材料といえは女子八十八ハードル。百米トルダッシュの日本記録保持者依田郁子の存在です。

彼女の競技歴は長野県上田築谷丘高校から始まります。そして昭和三十三年リッカーへ入社。

そこであかつきの超特急といわれた吉岡隆徳氏のコーチをえて、メキメキ腕を上げ、長い間のカベだった百米トルの日本記録12秒0を11秒8にかきかえ女子短距離界のエースとなったのです。しかし世界のカベはあつくそれに挑戦すべく毎日精進しています。でも会社務めのため仕事と競技とを両立させねばならない。それだけに彼女の精神的負担も大きくまた自分の時間がない事が悩みだといえます。

しかしオリンピックまではと依田さんはわき目もふらず毎日練習にはげんでいます。

8540天 368天 177天 109天

製作配給 東京中日新聞 中部日本ニュース映画社